

●池田温泉に流水プールと母子家庭用の町営住宅建設を ●農地・水環境保全対策は万全か

安田正治
議員



Q 二期目をめざす町長の抱負は。

A 住みたい町づくりを
目指しての、少子化

対策・(仮)梅谷トンネルの早期開通・道の駅開設による温泉の活性化・企業誘致・治山治水・組織のスリム化と行政改革・近鉄の存続等を推進していく。

Q 「魅力ある町づくりの為に」二つの提案をした。その一として池

田温泉に屋内流水プールの併設ができないか。近隣の町では、既に町民プールがあり、けっこう繁盛しているが、プールは夏場のみの利用で経済的に考える時、

年中利用出来る温泉利用は大変有効でもあり、また温泉の活性化、話題性もあると思うが。

次に母子家庭用の町営住宅を建設し提供してはどうか。現在の社会環境の変化

による独身者、母子家庭が増えて来た。経済的に大変厳しい家庭が多い。そこで、安価で安心な町営住宅の希望も多く寄せられており、早々に建設促進されるよう提案する。

A 温泉プールは、湯量確保、また、経済性

から考えて困難。母子家庭用住宅は、既存の住宅に優先入居しており、今後、その対象者に配慮しての建て

替えを検討したい。

Q 農地・水環境保全対策の状況は。

A 宮地区の他、六地区が参加。面積は5

81haで全耕地面積の53%。支援額は2千4百万円で、町負担は6百万円。地域の環境は、それぞれ地域全員で守るような組織づくりを図りながら万全を期している。